)青少年育成カレッジ「総合講座」の紹介

が「きかっきだもも、私も。

青少年育成ひろしま情報誌

青少年育成県民運動実践委員 青少年育成地域リーダー合同研修会 市町民会議ネットワーク研究・交流会

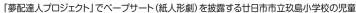
ネットワーク交流会

夢配達人プロジェクト いきいき地域活動紹介 ~子どもたちの夢を地域のみんなで実現させました!~

2013.2 vol.6

平成24年度青少年育成県民運動推進大会 っていれば夢は叶う」







少年育成の基本指針

(昭和52年6月1日青少年育成広島県民会議制定)

「青少年は日本の希望である」という言葉は、われわれの心を支えている標語である。とこ

前

文

ば、資源の乏しさを克服して、相当高い生活水準に到達している現代日本において、青少年は のに過ぎない。それは、各地域の実状に応じて具体化されることが期待される。総括的にいえ 択による自己教育の連続であるといえよう。 あったように、青少年はやがて大人になるのである。人間の生涯は、多様な価値観の個性的選 れば、青少年の健全育成は、大人の反省なしには実現しないであろう。大人がかつて青少年で 制定に期待の高まるのが実状である。しかし、青少年の非行が大人の生活の反映であるとす ろが、青少年の非行が問題になると、明確な実施効果の見定めもつかぬままに、条例や法律の ここに制定された青少年育成の基本指針は、ただ青少年育成のあり方を抽象的に示したも

われわれは、青少年の前途に幸福の「青い鳥」の夢を託したい。

将来どのような展望をもって進んだらよいか、これが最大の課題である。

青少年育成の基本指針

個性の独自性に対する自覚にもとづき、その価値可能性を錬磨し、生涯教育の 基礎をつくる。

会 家庭の愛情にはぐくまれ、社会生活において、友情と連帯の意識を養う。

然 国土の自然を愛護するとともに、地域社会の文化を尊重し、環境の教育的整備 につとめる。

自

社

世

界



2013.2 vol.6 Contents



特集/平成24年度青少年育成県民運動推進大会 02 「講演会 努力していれば夢は叶う」 生島ヒロシさん 「ペープサート(紙人形劇)ワニとイグアナの物語」廿日市市立玖島小学校



県民運動「あいさつ・声かけ運動」 07 まずは「おはよう」から始めてみませんか?

夢配達人プロジェクト推進事業紹介 80 ~子どもたちの夢を地域のみんなで実現させました!~



「少年の主張」広島県大会・中学生話し方大会 広島県知事賞 栩田優希さん

県民運動「明るい家庭の日運動」 14 平成24年度「家庭の日」に関する作文・図画等入賞作品



18 いきいき地域活動紹介 (公財)福山市青少年育成事業団・青少年育成海田町民会議 広島市東区青少年健全育成連絡協議会·青少年育成尾道市民会議









青少年育成カレッジ「総合講座」の紹介 26 NPO法人ちゃんくす代表 西上忠臣さん 県立広島大学保健福祉学部作業療法学科 永吉美香さん



はぐくむ vol.6 2013年2月1日発行

発行人/(公社)青少年育成広島県民会議

企画・編集/(公社)青少年育成広島県民会議 〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県環境県民局県民活動課内 TEL:082 - 513 - 2742 FAX:082 - 511 - 2173 URL: http://www.hiro-payd.or.jp

編集協力/株式会社クロスディパブリッシング





平成24年度 青少年育成県民運動推進大会



ンターにおいて、青少年育成県民運動推進大会を開催しました。平成24年10月27日(土)、広島市中区大手町の広島県民文化セ



体、また、模範的な活動を行っての健全育成に尽力した方々や団の健全育成に尽力した方々や団の建立である。まず開会に先立ち、広島県知まず開会に先立ち、広島県知

いる団体を表彰しました。

大会次第

【開 会】

◎表彰

青少年健全育成功労者等県知事表彰 「家庭の日」に関する作品の県知事表彰

- ◎開会あいさつ(公社) 青少年育成広島県民会議会長
- ◎来賓祝辞広島県知事 広島県議会副議長

【わたしたちの活動発表】

~夢配達人プロジェクト推進事業から~ 発表: 廿日市市立玖島小学校 <影絵劇>ワニとイグアナの物語

【講演会】

テーマ「努力していれば夢は叶う」 講師 生島ヒロシさん フリーアナウンサー

【閉 会】



平成24年度青少年健全育成功労者等知事表彰受賞者

(50音順、敬称略)

(青少年健全育成功労者26名)

石井由美(広島市) 出野和弘(尾道市) 大倉満千枝(安芸太田町) 越智正紀(広島市) 川口勝明(広島市)

桑原幸夫(広島市) 工田隆(呉市) 小牧貴子(府中町) 坂口義広(広島市) 迫田高則(庄原市)

田中一三(広島市) 田中公江(広島市) 田村芳枝(広島市) 寺本勝三(安芸高田市) 高橋直嗣(広島市)

東儀敬哲(広島市) 檜山俊郎(尾道市) 松村行夫(熊野町) 水田茂樹(尾道市) 水戸貞子(広島市) 宮部麗子(呉市)

森下和子(広島市) 山口厚司(広島市) 吉崎秀峰(三次市) 渡邉泰彦(三次市)

(育成功労団体3団体)

拳武五日市空手道スポーツ少年団(広島市) 五剣会五月が丘支部スポーツ少年団(広島市) 修交会五日市空手道スポーツ少年団(広島市)

(模範活動団体2団体)

FC坂ジュニア(坂町) 鯛尾子ども竹太鼓の会(坂町)







平成24年度「家庭の日」に関する作品の知事賞受賞者名簿

(作文の部)

特 選 天藤陽世里 尾道市立高見小学校 4年

特 選 杉本 実嶺 広島市立宇品中学校1年 特 選 大塚 東広島市立福富中学校1年

(図画の部)

特 選 近藤 椎奈 広島市立井口台中学校3年





た方です。

程を終了。青少年育成県民 社団法人青少年育成広島県民会 推進大会を閉会しました。 議の山内副会長が挨拶. 大会の終わりに当たり、

全日

公益

少年育成広島県民会議会長 冏が開会の挨拶をしました。 主催者を代表して、 公益社団法人青

県知事表彰の後、 続いて式典



画に応募、特選に選ばれた小・中学生 数1,588点の中から特選に選ばれ 校で行い、応募のあった図画・作文総 文・図画の募集を県内全ての小中学 のみなさんの表彰が行われました。 行っている「明るい家庭の日運動」の 環として、「家庭の日」に関する作 次に「家庭の日」に関する作文・図 あいさつ・声かけ運動」と共に

【生島ヒロシ 講演会】

う」と題し、皆様もよくご存知の生島 ヒロシさんに講演をいただきました。 講演会では「努力していれば夢は叶



されました。 やってきたら必ずつかむこと、と話 ばチャンスがやってくる、チャンスが 学んだと言います。あきらめなけれ る、あきらめてはダメ」ということを 験、夢を持って東京で暮らし始めた が来る」と父親に言われて大学を受 渡った経緯が語られました。そこで ない」と片道切符を手にアメリカへ 誘われて「このままで人生終われ たため挫折。ちょうど空手の先生に ものの、折しも学生運動が盛んだっ れからは間違いなく、国際化の時代 力に留学するきっかけの話から。「こ 人はやる気になれば何でもやれ 講演ではまず、生島さんがアメリ

げることを心掛けたという生島さん。 の競争ではなく、自分のレベルを上 芽生えて大学へ編入。そこで他人と 本に帰国してからTBSでの活躍や その後、優秀成績者として卒業、日 ン話し、うまくなってくると自信も ないことから下手でも英語でドンド 自己主張をしないと受け入れられ た生島さんでしたが、アメリカでは れまで赤面症で話すことが苦手だっ その後、アメリカの短大へ入学。そ

> ども話されました。「何かをやろう ぐよ、と言ってくれる人が周りにど 上京予定だった日に、東日本大震災 を養うことが大切」と言います。 れだけいるか、普段から総合人間力 としたときに、お前のために一肌脱 で気仙沼の妹夫妻を亡くしたことな

健康や経済の話を軽快にお話しいた 切だという意味。その他、会場の皆 さんとの掛け合いなどを交えながら、 は続くから、あきらめないことが大 があっても沈まなければ人生の航海 り、人生には荒波が押し寄せるとき だきました。 「揺れても沈まず」というのがあ 生島さんの好きな言葉の一つに



生島ヒロシさんのプロフィール

や司会を手掛けられています。 立された後はテレビ・ラジオはも サーとして活躍。1989年に独 ラジオ番組を皮きりにアナウン 卒業後、TBSに入社されました。 グビーチ校のジャーナリズム科を れ、カリフォルニア州立大学ロン まれ。1971年に単身渡米さ とより、年間100回以上の講演 1950年宮城県気仙沼市牛

造詣も深く、健康や福祉、金融や 綴った「おばあちゃま、壊れちゃっ 育インストラクターなどの様々 祉住環境コーディネーター、ファ ら、ヘルスケアアドバイザーや福 やみなと気仙沼大使を務めなが 的に行っていらっしゃいます。 たの?」を出版するなど福祉への な資格を取得。義母の介護体験を イナンシャルプランナー、日本食 人生をテーマにした講演を精力 現在は東北福祉大学客員教授



【私たちの活動発表】

つ夢に取組んできた成果を発表する /―ト (紙人形劇) をしたい。] とい 協力のもとに実現しました。

そこで、「すべて手づくりのペープ

を披露していただきました。 背景画や曲作りで応援しました。 影絵を担当した3・4年生の夢を、1・ 2年生は手影絵あそび、5・6年生は ことになりました。お話しづくりと 当日は、その完成したペープサート

地域の人を元気にしてあげたい」と 推進事業」に参加。「ペープサートで ちが、昨年の「夢配達人プロジェクト いう子どもたちの夢が、多くの人の 廿日市市立玖島小学校の子どもた

ワニとイグアナの物語

「おれがまもってやる ~おとうさんありがとう~】

あるところに

5人のイグアナの兄弟たちが住んでいました。 ある日、傷だらけのはぐれワニを助けた5人 は、一生懸命に看病します。やがて・・・





独りぼっちのワニと、親を亡くしたイグアナ兄弟が 絆をつよめていく物語

【ストーリー】

親を亡くし、独りぼっちで生きてきた「はぐれワニ」。けがを して動けなくなったところを、偶然出会ったイグアナ兄弟に 助けられます。最初は餌として食べてしまいたいと思いまし たが、懸命に看病してくれる姿に心を打たれ、「おとうさんに なって」というイグアナたちのお願いまで聞いてしまいます。 いろいろな事件に巻き込まれながらも、助け合うたびに絆を つよめていく「親子」。そんなとき、何百頭もの牛の大群が やって来て…。

【登場キャラクター】













い。先生はそう思った。 る。間違いだ。他の子の記録に違いな 勉強も良く出来、将来が楽しみ」とあ 少年の一年生の記録が目にとまった。 も好きになれない少年がいた。中間記 を記入するようになっていた。ある時 録に先生は少年の悪いところばかり 「朗らかで、友達が好きで、人にも親切り 人服装が不潔でだらしなく、どうして 先生が5年生の担任になった時、一

四年生になると「父は生きる意欲を失 暴力を振るう。」 い、アルコール依存症となり、子供に 亡。希望を失い、悲しんでいる」とあり 眠りする」、後半の記録には「母親が死 病気が悪くなり疲れていて、教室で居 と書かれていた。三年生では「母親の をしなければならず、時々遅刻する 二年生になると「母親が病気で世話

自分の前に立ち現れてきたのだ。 を生き抜いている生身の人間として、 メと決め付けていた子が突然、悲しみ 先生の胸に激しい痛みが走った。ダ

先生は夕方まで教室で仕事をするか

年生で先生に担当してもらって、とて

「明日は高校の卒業式です。僕は五

放課後、先生は少年に声をかけた。

年は初めて笑顔をみせた。 らないところは教えてあげるから」少 ら、あなたも勉強していかない?分か

信を持ち始めていた。 少年が初めて手を上げたとき、先生に 机で予習復習を熱心に続けた。授業で 大きな喜びが沸き起こった。少年は自 それから毎日、少年は教室の自分の

け、夕暮れに少年の家を訪ねた。 物にちがいない。先生はその一滴をつ た。亡くなったお母さんが使っていた た。後であけてみると、香水の瓶だっ さな包みを先生の胸に押し付けてき クリスマスの午後だった。少年が小

お母さんの匂い!今日は素敵なクリ 先生の胸に顔を埋めて叫んだ。「ああ いた少年は、気がつくと飛んできて 雑然とした部屋で独り本を読んで

それから六年、またカードが届いた。 会った中で一番素晴しい先生でした. 母さんのようです。そして今まで出 枚のカードが届いた。「先生は僕のお なった。卒業の時、先生に少年から 六年生では少年の担任ではなく

スマスだ」

らって医学部に進学することが出来 も幸せでした。おかげで奨学金をも

高の先生は五年生の時に担任して下 救って下さった先生を神様のように の痛みが分かる医者になれると記さ さった先生です」 感じます。医者になった僕にとって最 す。あのまま駄目になってしまう僕を く五年生のときの先生を思い出しま れ、こう締めくくられていた。「僕はよ 父親に叩かれた体験があるから患者 こには先生に出会えた事への感謝と 十年を経て、またカードがきた。そ

さい」と一行、書きそえられていた。 の招待状だった。「母の席に座って下 そして一年。届いたカードは結婚式

がある。 生きた。ここにこの少年の素晴らしさ その縁に少年は無限の光を見出し、そ れを拠り所として、それからの人生を たった一年間の担任の先生との縁

えられた縁をどう生かすかである。 生を開花させていく。大事なのは、与 いる。無数の縁に育まれ、人はその人 人は誰でも無数の縁の中に生きて

民運動

子ども・若者育成支援強調月間 あいさつ・

県内3ヵ所でのあいさつ・声かけ運動の様子)

育成関係団体及び広島県、広島県議会、中国運輸局、 JR西日本の皆さんと一緒に、県内3ヵ所で街頭啓発

広島県の青少年のマスコット「ゆっぴー」、青少年

育成支援強調月間」として、各種取組が行われています 子ども・若者の健やかな育成を目的に、 毎年11月を「子ども・ 若者

その中のひとつに「あいさつ・声かけ運動」の取組があり、今年も県

内3ヵ所で街頭啓発活動を実施しました。

れています。 れており、その効果について、参加者からは次のような感想が寄せら 3カ所のほか県内各地でも「あいさつ・声かけ運動」の取組が行わ

。子ども達から積極的にあいさつが返ってくるようになった

笑顔で大きな声で返してくれる

子どもの健全育成や安全を守る地域づくりができた

いる るうえ、住民同士(地域)のコミュニケーションの強化につながって 。子ども達と顔なじみになることで、子ども達との信頼関係ができ

近所付き合いが頻繁になった。

地域の子は、地域で守ろうとする機運の醸成にもつながっている

「あいさつ」は心のドアを開くカギ

に」と地域の方に感謝の気持ちが育っている。 とコミュニケーションができ、「また見守られている・私たちのため 登下校時の児童の安心感・防犯効果につながっている。地域の人

ぎ、そして地域をつなぐ有効なコミュニケーションの手段であることが よくわかります。 「あいさつ」「声かけ」は子どもと大人をつなぎ、大人と大人をつな

あなたの地域でも、まずは「おはよう」から始めてみませんか?

11月2日 JR広島駅前にて

活動を実施しました。











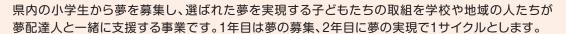






夢配達人プロジェクト推進事業

~子どもたちの夢を地域のみんなで実現させました~





これまでの応募・採択の状況

採択年度	応募件数	実現した夢	採択された学校名
平成16年度	1,371	8	広島市立五日市南小 竹原市立荘野小 三原市立南方小 道上地区子 ども育成会 (福山市) 庄原市立高南小 東広島市立中黒瀬小 安芸津 町児童館 「子どもの家」(東広島市) 世羅町立宇津戸小
平成17年度	1,224	8	広島市立神崎小 吳市立蒲刈小 福山市立鞆小 府中市立南小 三次 市立作木小 廿日市市立地御前小 安芸高田市立刈田小 府中町立府 中東小
平成19年度	1,820	8	広島中央特別支援(広島市) 尾道市立御調西小 庄原市立峰田小 大竹市立大竹小 廿日市市立宮園小 北広島町立南方小 世羅町立中央小 神石高原町立二幸小
平成20年度	3,313	8	広島市立宇品東小 三原市立須波小 福山市立樹徳小 東広島市立三 ツ城小 熊野町立熊野第四小 安芸太田町立加計小 北広島町立雲月 小 大崎上島町立東野小
平成21年度	3,478	8	広島市立東浄小 福山市立山野小 大竹市立穂仁原小 東広島市立平岩小 江田島市立江田島小 府中町立府中小 海田町立海田小 神石高原町立油木小
平成22年度			島小 江田島市立中町小 熊野町立熊野第四小 坂町立坂小 大崎上

平成23年度採択 平成24年度実現した「夢」(応募件数1,244件)

市町名	(グループ名) 応募者名(学校名·学年)	応 募 概 要			
広島市	やまさき りんか 山崎 凜香 (上安小5年生)	自分の町の模型を作りたい。			
呉 市	おうぎたに ひなた 扇谷 陽生 (仁方小2年生)	災害に役立つ歌やカルタを作りたい。			
三原市	でらた あやか 平田 朱花 (羽和泉小3年生)	学校を絵にした大きなパズルを作りたい。			
福山市	いのうえ はやと 井上 颯人 わたなべ じゅんや (服部小4年生) 渡辺 順也	ホタルを観察できる場所を作りたい。			
庄原市	なかもと なぎさ 中本 凪咲 (東小4年生)	みんなが笑顔になる言葉でポストカードを作りたい。			
安芸高田市	(げんき森もり) 道遊 颯人(小田東小2年生)	学校の裏にある公園をきれいにして,虫が住める虫ランドを作りたい。			
女子同田川	(出張兄弟) 出張 碧人 (来原小4年生)	田んぼのあぜに芝桜を植えたい。			
坂 町	しんかい あみ 新開 彩水(小屋浦小5年生)	服をリメイクしてファッションショーをしたい。			
大崎上島町	かかもと あい 川本 愛(木江小5年生)	フェリー乗り場に大崎上島の良さを伝える看板を作りたい。			
神石高原町	(小学少女) 高尾 玲可 (豊松小4年生)	豊松の特産品を使った料理を出すレストランを開きたい。			

呉市

災害に役立つ歌やカルタをつくりたい。 (2013年3月実現予定)

1学期中に全学年から募集した防災カルタの読み札を選定 中。10月に絵札を作成。今年2月に防災カルタ大会を実施予 定。



3月に行われる防災カルタ大会 (夢の実現) に向け取り組み中です。

広島市

自分の町の模型を作りたい。

夢配達人の指導を受けながら作成。11月27日に開催される 「地域安全ボランティア感謝の集い」で披露。その後、地域 の公民館祭りでの展示を計画中。



夢配達人である小野育雄先生(広島 女学院大学准教授)を迎え、<まち> について講義を受けました。



6月、16班に分かれて 上安の町を隅ずみまで 探検して、マップにまと めました。



形成し色をつけた小さなパーツを、ピンセット を使ってひとつひとつ丁寧に組み立てていき ます。

福山市

ホタルを観察できる場所をつくりたい。

学校や地域の方々の協力のもと、5月19日に完成したホタル



完成したホタルドームの

前で記念撮影。

三原市

学校を絵にした大きなパズルを作りたい。 (2013年2月実現予定)

地域の方々の顔写真を使って学校(今年2月閉校)の校舎の ドームの落成式を開催。6月2日には服部ほたる祭りで披露した。 パズル (モザイク)を作成するため、夢配達人から写真撮影 の指導を受けた子ども達が地域の方々の写真撮影等を実施 し、今年2月に開催の閉校行事で披露予定。



写真撮影を実践しています。

学校の裏にある公園をきれいにして、虫が 安芸高田市 住める虫ランドを作りたい。

10月21日に完成式典を開催し、披露した。



夢配達人から指導を受け、公園入口に 設置するトーテムポールに5・6年生が 色づけをしています。



-ンアートを1~4年生で製作しま

夢配達人の前田宣之 さん (イラストレー ター) が絵の描き方 を指導してください ました。

庄原市

みんなが笑顔になる言葉でポストカードを 作りたい。

夢配達人の指導を受けながら学校や地域の方々の協力のもと、 夢配達人の指導を受けながら、絵やメッセージ、ポストカードを 作成。10月28日のふるさとまつりで展示をした後、11月25日に 学習発表会で披露。その後、被災地や県内の施設へ3.000枚を 配布·発送。





- 文字一文字心をこめて、ポストカード にことばを書いていきます。



このカードは庄原赤十字病院 にも届けられました。

服をリメイクしてファッションショーをした 坂

地域の方々から提供いただいた古着のリメイクやファッション ショーでの歩き方等を夢配達人の指導を受け、10月27日の「学 習発表会」で披露した。11月4日「坂町文化祭」に出演。



夢配達人である山﨑美枝子さん (石田あさきトータルファッショ ン専門学校副校長) と学生さん たちの指導を受け、古着のリメ イクを行いました。たくさんの 古着は、地域や保護者のみなさ んが提供してくださいました。

「げんき森もり ゆめランド」の

完成。公園入口には表示板と

トーテムポールが。



-マは春。ちょうちょや サクラをイメージしていま

リメイクファッションショー 「小屋浦の四季」。地域の みなさんに披露しました。



安芸高田市

田んぼのあぜに芝桜を植えたい。(2013) 年5月実現予定)

5月上旬に苗の植え付け作業を実施。現在は、芝桜についてさ らに詳しく調べる学習や苗を大きく育てていくための栽培活動、 まとめの発表会に向けた準備等に取組中。



事前学習として花夢の里ロクタン(世羅町)へ遠足に行きま した。あいにくの雨でしたがみんな満開の芝桜に感動して いました。

夢配達人から指導を受け ながら全校児童で苗の植 え付け作業をしました。



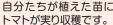
夢配達人の指導を受けながら防草 シート張り作業をしました。

豊松の特産品を使った料理を出すレストラ 神石高原町 ンを開きたい。

地産地消や食についての学習や、児童が考案したメニューの試 作や調理の実習を行い、10月21日に開催された、ふるさとまつ りふれあいフェスティバル会場内のブースで出店した。



トマト生産者から指導を受けトマトの苗を 植えました。





自分たちが植えた苗に



大崎上島町

フェリー乗り場に大崎上島のよさを伝える 看板をつくりたい。

看板の絵(原画)がもうすぐ完成。11月から島の各港に設置。



町の歴史に詳しい地域 の方から、ふるさとのよ さや民話・伝説などにつ いてお話を聞きました。







「とよまつふれあいフェス ティバル」で販売しました。





わたしたちのふ るさと木江のお すすめスポット 看板、完成です。 港やバス停など 島内5か所に設 置しました。

平成24年度採択(平成25年度実現予定の夢)

今年度は9月26日(水)に夢選考委員会を開催し、応募総数1,539件の中から次のとおり、10件の夢を採択しました。

市町名	(グループ名) 応募者名 (学校名・学年)	夢 の 概 要
広島市	こばやし れいほう 小林 伶鳳 (五日市東小5年生)	手すき和紙で世界にたった1枚の卒業証書を作りたい。
広島市	(似島ワイルド3人組) とはた りこ 豊田 莉子(似島小5・6年生)	マスコットキャラクターや料理を作って似島をみんなにPRしたい。
呉 市	Utabita (p) 下片野 優 (宮原小6年生)	金澤翔子さんと一緒に書道をしたい。
竹原市	あいざわ けんた 相澤 健太(竹原小5年生)	JAXAの人と宇宙教室をしてミニロケットを飛ばしたい。
三原市	まつだ ひゅうが 松田 彪冴 おかだ おゆう 岡田 実優 (幸崎小6年生) さけみ ごうへい 酒見 浩平	子どもが担げるだんじりを作って祭りで担ぎたい。
福山市	(大切な友だち) こぼやし ゆき 小林 優海 (多治米小3年生)	福山の民謡や踊りを教えてもらって、備後絣を着てたくさんの人の前で披露したい。
府中市	^{はやし} 林 めぐみ (明郷小4年生)	廃校になった小学校を1日だけよみがえらせたい。
東広島市	(夢かなえたいチーム) たけなか あかり 竹中 亜花里 (高美が丘小4年生)	地域の人達と一緒に映画を作りたい。
海田町	ほそくに そら 細国 空 (海田東小4年生)	命の大切さを教える絵本を書きたい。
安芸太田町	(戸小みんなでつくり隊) 山下 穂乃実 (戸河内小5年生)	地域の人と一緒に山に入り間伐をし、手伝ってもらって、鉛筆や遊具を 作りたい。

「少年の主張」・中学生話し方大会 2012

中学生が日ごろ思っていることや考えていることを発表しました。

平成24年9月22日エソール広島

張広 اما 話し

広島県知事賞は栩田優希さん



登下校するときに正門のところで 時に、正門で立ち止まり一礼をして 島県のある中学校では、生徒たちが ることはありませんでした。 夏休み中部活で登校した時も変わ 持ちを込めた行動なのです。だから る場である学校に対する感謝の気 するのではなく、自分たちが学習す います。それは、人が見ているから インターネットの、ある書き込みに /がいなくても礼をするよう先生 ところが、そんな私たちに対して 私の子どもが入学予定の広

ではの心を持った剣道部が正門で 深く考えず、ただ「礼」をしていただ のです。当時、文化部に所属してい 運動部、文化部へと広がっていった の一礼を始め、それを見習って他の 礼を大切にします。そんな日本なら などの武道では教えていただく人 校に広がったものです。剣道や柔道 た私は「感謝」などのことはあまり けだったように思います。 に感謝の心をもち、始めと終わりの と教え合う仲間、そして道場や道具 「正門での一礼」は、剣道部から全

組みをする学校に行かせることに

たちが指導しています。こんな取り

不安感を抱いています。」

今在ることの原 点

広島県呉市立阿賀中学校 3年

ゆうき

という記事が載っていました。学校 栩 < 田 だ 優希 さん

らかに私たちの学校のことでしょ 名はありませんでしたが、これは明 私の通う阿賀中学校では、登下校

県内の中学校から57校4939名の応募があり、原稿審査を通過した36名が日ごろの成果を発表しました。

その中から、呉市立阿賀中学校3年の栩田優希さんが広島県知事賞を受賞しました。

ろでの話になっていたからです。それま の一礼を、 あげてきました。書き込みの質問に対し 見つけた私は、もやもやした思いが込み すっかり習慣づいた頃、例の書き込みを んでした。 は違う」と、思わず怒らずにはいられませ で生活の一部として習慣化した「正門で およそ私たちの思いとはかけ離れたとこ 法性が高いので訴訟をすればよい」とか、 て「礼をしないと学校に入れないのは違 「正門での一礼」が生活の一部として 学校の外から批判され「それ

ますますエスカレートすると思って、踏 をしました。でも、私が負けたらいじめは は私もいじめの標的になり、つらい体験 た。いじめを止めようとしたものの、結局 います。その中心にはいじめがありまし んばって毎日学校に行っていました。 私は小学校の頃、学級崩壊を経験して 中学生の今、私は毎日安心して学校に

が、 づきました。 ネットの書き込みによって改めて気 た「正門での一礼」の意味を、インター いのでしょう。今まで何気なくしてい なぜ訴訟をされなければならな

教えてくれた学校に誇りをもって続 原点です。私はこれからも、生き方を そのことに感謝して生きることの、ど られ、育てられています。だからこそ、 こが間違いなのでしょうか。 私たちは誰だって多くの人に支え 正門での一礼は、私が今在ることの

込めて、正門での一礼をするようになっ はいつの間にか本当に感謝の気持ちを

ていたのです。落ち着いた雰囲気の学校

違反もなく、授業態度もよく、校内は明る 通うことができています。生徒全員服装

い笑顔でのあいさつで溢れています。楽

しく学校に通えることの喜びを感じ、私

をもって正門で一礼する私たちの学校 仲間たちがいる。そのことに「感謝の心」 と、それを一生懸命創り、守る先生方と

けていきます。

広島県知事賞	呉市立阿賀中学校	3年	栩田 優希	今在ることの原点
(公社)青少年育成広島県民会議会長賞	広島市立国泰寺中学校	2年	大段 沙那	感じる力、伝える力
広島県中学校話し方連盟会長賞	広島市立井口台中学校	3年	近藤 椎奈	闘う。
国際ソロプチミスト広島会長賞	安芸高田市立吉田中学校	1年	茂本 凉菜	私はもう逃げない
広島清流ライオンズクラブ会長賞	安芸高田市立八千代中学校	3年	江崎 結音	思いを伝えよう
優秀賞	三次市立十日市中学校	1年	中原規江	私の願い
優秀賞	呉市立両城中学校	2年	坂本 知世	仲間と心を一つに
優秀賞	竹原市立吉名中学校	3年	西村 千景	悩んでいる自分へ。
優秀賞	尾道市立向東中学校	3年	平川 怜奈	未来に向かって
優秀賞	尾道市立因島南中学校	2年	津島 良伍	未来へつなごう米作り
優秀賞	安芸高田市立高宮中学校	3年	竹川 光	ハリガネムシエレジー





協賛/国際ソロプチミスト広島・広島清流ライオンズクラブ・(財)広島青少年文化センター

毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、 家族みんなの心が通い合う明るい 家庭づくりに取り組んでいます。

県民運動

明るい家庭の日運動

平成24年度「家庭の日」に関する 作文・図画等入賞作品



ちょっとばあちゃんに聞いてみました。家庭の日が、私はよく分からないので、

尾道市立高見小学校 四年

天藤 陽世里さん

「それは、家族みんなが、一日楽しくすご そうという日じゃないかね」とばあちゃんは、いいました。「家庭」という言葉を国語は、いいました。「家庭」という言葉を国語は、いいました。「家庭」という言葉を国語にくらしている家族のまとまり。また、いっしょにくらしている所」と書いてありました。ないのかな。そんなのいやだと思いました。ないのかな。そんなのいやだと思いました。ないのかな。そんなのいやだと思いました。ないのかな。そんなのいやだと思いました。と思ったけど、ゆう気を出してばあちゃんに聞いてみました。

「パパは、いっしょにくらしていないか「パパは、いっしょにくらしていないか」を変が出まった。やっぱりパパは私の家族なんだのはパパの一番大事な家族よ。ひよちゃんはパパの一番大事な家族よ。ひよちゃんはいいはいか

おぼんにパパが帰って来ました。いつ

福山のプールへ行きました。いろいろな 事いそがしいから、三日しかいられなく 見えました。私はうれしくて上がって来た かったです。 ろいたずらをしました。とってもおもしろ 最後の日パパは、朝おそくまでねていまし たい」と言ってちょっとかわいそうでした。 のせ中は真っ赤になりました。「いたい、い す。その日は、とっても暑かったので、パパ プールで遊びました。すごく楽しかったで な物を見せてあげました。次の日は二人で、 がかざりつけをした写真たてなどいろん と、ゲームをしたり、学校で作った船や、私 たけど、がまんしました。その日は、パパ もって長くいてほしいのになぁ」と思っ ました。パパは「ありがとう。おいしいね」 帰ってすぐ、コップにコーラをついであげ パパにとびつきました。帰りにスーパーで、 した。フェリーの一番前に出て来たパパが た。私はパパをおこしてやろうと、いろい てごめんね」と言いました。「ええなんで、 と言って飲んでくれました。パパは、「お仕 パパのすきなコーラを買いました。家に

ました。パパが電車に乗って手をふってくのきっぷを買ってから、「パパもお仕事がんばるからひよちゃんもお勉強がんばってよ」と言いました。私は少しなみだが出ました。パパは、自動はん売機で新かん線をになって、尾道駅まで見おくりに行き

よ」と心の中で言いました。 とだけ手をふりました。そうしたらばあた。私は「パパ元気でね。また早く帰ってきてした。パパも大きく手をふって」と言いました。 私は「パパ元気でね。また早く帰ってきていました。 私は 「パパ元気でね。また早く帰ってきょっれました。 私はさびしかったのでちょっ

元気が出て来ました。した。そうしたら、何だかうれしくなってと言いました。私も本当にそうだと思いまばあちゃんが「いい家庭の日だったね」



杉本 実 おおお ままま おおま ままま ままま かんしょう おおま かんしょう ままま おおま おおま おおま かんしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしん はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしん

実演さん

私の大切な弟には障害がある。生まれたいなったが、自閉症と知的障害とてんかんがいまったが、自閉症と知的障害とてんかんがいなったが、自閉症と知的障害がある。生まれたの時の方は小学四年生になり、大きくて元気になったが、自閉症と知的障害がある。生まれたもの大切な弟には障害がある。生まれたある。

が苦手だったり、人とすぐトラブルになるのり出して暴れたり叫んだり、順番を待つこと弟は小さい頃から、すぐにイライラして怒

はぐくむ Vol.6 2013.2

ものようにと船の所までむかえに行きま

で大人が側にいないと危険だった。

いこ。てくれたり、家でも父や母がいつも弟の側にてくれたり、家でも父や母がいつも弟のに先生が付いてい

て悲しませてしまったこともある。した。母に「私も自閉症になりたい。」と言っことがうらやましくて時々意地悪したりも私は、いつも誰かに側にいてもらえる弟の

実は弟本人が一番辛いこともわかった。がわかってきた。弟はわがままではないこと、と色々話し合って、少しずつ弟の障害のことしかし、障害についての本を読んだり、母

らかうのは絶対にしてはいけないことだ。特別支援学級に通っている子を差別してかだ。その話を母から聞いた時、私は悲しかった。母もとても悲しそうな顔や声をしていた。弟は特別支援学級に通っていて、そのこと弟は特別支援学級に通っていて、そのこと

言ってくれたことを今でも忘れられない。言ってくれたことがある。その時、母が、「何かあったら全部話しなさい。お父さんもお母さんもとで友達とケンカをした時は本人同士で話して解決しておいで。でも冴駿のことでですとからのは許せない。実績が他も対守っていくから。」と泣きながらろれたことを今でも忘れられない。

いをするということを学んだ。いじめられた相手だけでなく、家族も辛い思いじめられた相手だけでなく、家族も辛い思

叫んだ。しかし母は、「大きな声を出しちゃダ も涙が出るそうだ。 作が止まった時はゆっくりと抱きあげ、いつ きしめてあげたい。」と叫んでいるそうだ。発 とを知った。母は態度は冷静だが、頭の中で な声を出したり、体をゆすってはいけないこ 発作中は、刺激を与えてはいけないので大き る冊子を見せてくれ、色々話をしてくれた。 も驚いた。しばらくして母がてんかんに関す と、とても冷静だった。私はその母の態度に メ。見ない方がいいからむこうに行ってて。」 る。私が驚いて大声で泣きながら弟の名前を からたくさんの泡を吐く姿を見たことがあ ガチガチに硬くなり、しばらくすると口の中 る。弟が突然けいれんをして白目になり体が だが、てんかんのため、毎朝晩、薬を飲んでい 「早く止まって。」と叫んでいるし、 毎日うるさく、柔道も習っていて元気な弟 「代われるなら代わってあげたい。早く抱 心の中

思い生活している。

なで話し合い、助け合いながら、弟を大切に少し特別な経験や思いをしてきた。家族みんが直でいる。とは、健康な人ばかりの家庭より、

様々な障害について世界中のみんなが理様々な障害について世界中のみんなが助け合って仲良く過ごせる世の中になることを願う。けてきたが、今度機会があれば隠さず話し、けてきたが、今度機会があれば隠さず話し、



と同居しています。おじいさんはとても元気で畑や田んぼの仕事をしていたそうですが今は足が悪く家の中で過ごす事が多くなって外に出る事が少なくなりました。「潤、あれとってくれ」「潤、あれとってくれ」「潤、あれとってくれ」「潤、あれとってくれ」「潤、あれを持ってた。僕はおじいさんの為だと思い頼まれした。僕はおじいさんの為だと思い頼まれした。僕はおじいさんの為だと思い頼まれた事は全部引き受けていました。

ある日の夜ごはんを食べた後におじいある日の夜ごはんを食べた後におじいた事が出来なくなってきたという話でした。その時母に「おじいさんから賴まれた。トイレの失敗がある事を母から聞きました。その時母に「おじいさんから聞きまた。トイレの失敗がある事を母から聞きまた。トイレの失敗がある事を母から聞きまた。その時母に「おじいさんかられた事が出来なくなってきたというにないんだよ。」

かりませんでした。と言われました。僕は母が言ってる事が分

と言われてハッとしました。じいさんが何にも出来んようになるよ。」事は自分でやってもらうようにせんとお事は自分でやってというようにせんとお

た。

くことで足の運動にもなる事を知りましせていたんだと気付きました。無理なく動いた事は少しずつ出来る事を出来なくさいた事は少しずつ出来る事を出来なくさい

潤さん

◎出来る事をとらない

◎おこらない

と家族で決めてからはおじいさんに用事を頼まれたら「一緒に歩くようにしています。家をかけて一緒に歩くようにしています。家族みんなでおじいさんの出来ない事を手族みんなでおじいさんの出来ない事を手が高校行くまで生きとれるかの?」とかが高校行くまで生きとれるかの?」とかが高校行くまで生きとれるかの。

で協力しておじいさんのサポートをしてで協力しておじいさんのサポートをしてで協力しておじいさんのサポートをしてで協力しておじいさんのサポートをしてで協力しておじいさんの時間をではんの時間は唯一、家族全員がそ



週末に必ず焼く 広島風です。 唯一家族がそろう

近藤 椎奈さん 井口台中学校 3年広島市立



西藤小学校 1年

わたしの 本山 煌莉さん おいわいしました。 たんじょうびを



おいしかった。バーベキューは、 かぞくでの

煌莉

来輝

幸汰

本山

島津

廣畑

松田

穂垣

島津 しまず 来輝さん

山田小学校 2年広島市立

「唯一家族がそろう週末に必ず焼く広島風です。」 近藤 椎奈

> 「わたしのたんじょうびをおいわいしました。」 「かぞくでのバーベキューは、おいしかった。」

「家族4人なかよし」

優奈 「小さいころを思い出しながら描きました。」 佳歩 「家族・親戚と一緒に海ですいかわりをした。」

タリークラブ、広島西ロータリークラブ、広島中央ロータリークラブ、 クラブ、広島安佐ロータリークラブ(敬称略、順不同)



廣畑 幸汰さん

家族4人なかよし

酒河小学校 5年三次市立





一緒に海で家族・親戚と すいかわりをした。

城北中学校 2年 **穂垣 佳歩さん** ほがき か ほ





思い出しながら 描きました。 小さいころを 松田優奈さん 井口台中学校 1年広島市立

平成24年度 「家庭の日」に関する作文・図画等 入賞者一覧

作文の部

特 選

ויו אבי						
尾道市立高見小学校	4年	天藤	陽世里	「家庭の日」		
広島市立宇品中学校	1年	杉本	実嶺	「私の大切な弟」		
東広島市立福富中学校	1年	大塚	潤	「家族の絆」		
入 選						
東広島市立久芳小学校	1年	加藤	里都	「おかあさんありがとう」		
広島市立みどり坂小学校	2年	髙口	奈月	「わたしのお兄ちゃん」		
広島市立幟町小学校	2年	井上	萌恵	「家ぞくとピアノ」		
竹原市立忠海西小学校	2年	原野	錦造	「ぼくのヒーロー」		
広島市立幟町小学校	4年	錫木	杏奈	「夏休みの思い出」		
東広島市立寺西小学校	4年	岡崎	なつめ	「お母さんと作るごはん」		
広島市立戸坂城山小学校	5年	徳丸	瑞希	「家族へありがとう」		
福山市立御幸小学校	5年	山下	裕菜	「全力投球のお父さんにまけないように」		
呉市立横路中学校	1年	岡田	優芽華	「うちルール」		
広島市立古田中学校	1年	田中	宗来	「家族の「絆」」		
坂町立坂中学校	1年	河野	日菜	「陸上部の私と家族」		
呉市立呉中央中学校	1年	﨑山	凜	「家族が増えて」		
東広島市立中央中学校	2年	中野	由華莉	「家族キャンパス」	図画の部	
東広島市立福富中学校	2年	小林	未歩	「家族で気持ちを一つに」	特選	
広島市立古田中学校	2年	橋本	恩佑子	「家族の大切さ」	広島市立井口台中学校	3年
広島市立美鈴が丘中学校	2年	河野	雄也	「僕の居場所」	入 選	
三原市立久井中学校	3年	栗原	幸子	「祖母の願い」	尾道市立西藤小学校	1年
広島市立五日市中学校	3年	田畠	実優	「父の大きな存在」	広島市立山田小学校	2年
広島市立牛田中学校	3年	井上	千穂	「家族とは?」	三次市立酒河小学校	5年
広島市立落合中学校	3年	小田	拓翔	「父への思い。母へ」	広島市立井口台中学校	1年
大竹市立玖波中学校	3年	児玉	朋幸	「一般家庭は幸せな家庭」	福山市立城北中学校	2年

協賛/

全日本空輸株式会社、広島ロータリークラブ、広島南ロータリークラブ、広島東ロータリークラブ、広島東南ロータリークラブ、広島北ロー 広島西南ロータリークラブ、広島陵北ロータリークラブ、広島安芸ロータリークラブ、広島城南ロータリークラブ、広島廿日市ロータリー

広島市東区青少年健全育成連絡協議会、青少年育成尾道市民会議の活動を紹介します 今回は(公財)福山市青少年育成事業団と、青少年育成海田町会議 県内各地の市町民会議が行うイベントの中から



(公財)福山市青少年育成事業団

福山市青少年自立支援事業 「社会体験活動プログラム」を実施中!

~【スーパーマーケット】で職場体験した青年たち~

何かをはじめてみませんか。一緒に 今の自分を変えてみませんか。簡単な 一歩じゃあないけれど、確実な一歩を 踏みしめて、違う風を感じてみません か。福山市青少年自立支援事業「社会体 験プログラム は、青少年(概ね15歳か ら40歳未満)を対象に学校や社会にな じみにくい、目的が持てない、何をして いいか分からない、自宅にひきこもりが ちな状態から社会へ一歩を踏み出した いと考えている青少年、また、進路が決 まらないまま自宅で過ごしている青少 年などを対象に、週に一回、ボランティ ア活動や企業等での職場体験を通じて、 社会活動への参加を促す事業です。

6年月を迎えた今年度の事業は、5月 31日(木)から2013年(平成25年)2月 22日(金)まで35回開催し、毎回約20名 が参加しています。

今回の「第16回社会体験活動」は、9 月14日(金)、スーパーマーケットで職 場体験を行いました。はじめに店長から 「衛生管理と仕事について」の指導を 受けた後、「青果」「精肉」「鮮魚」「惣 菜|「食品|の担当毎に分かれて作業を 行いました。

全員がそれぞれ希望する担当を店長 に伝え、調整した後、職場毎に分かれま した。

各職場では、担当責任者の方から注 意事項、仕事内容の説明を受け、手洗い、 マスク・帽子を着用して作業に取り掛か りました。作業中は真剣そのもので、確 実に黙々と業務を行っていました。

終了後のアンケートには、「惣菜をト レーに詰める際に神経を使いました。」 「秋刀魚の竜田揚げを詰める透明のト レーで手を切りそうになりました。」「肉 のパック詰めの種類が多く、手間取った 所もありましたが、面白かった。」「商品





が箱で来るので品出しする時、重たい ので大変だと思いました。」「最初は、動 けなかったが、徐々に動けるようになっ た。」「魚を並べるのが意外に難しかっ た。」「店の裏側がわかり、品出しの大変 さがよく分かりました。」「みなさんが優 しくて良かった。」「普段出来上がった品 物ばかり見ているので、惣菜売場の裏 側で作業できて良かった。分かりやすい 説明をしていただいたお陰で、失敗も 無く取り組めて、貴重な体験ができまし た。」等ありました。

最後に店長から「みなさん一人ひとり が内容を理解して仕事をしてくれまし た。良くがんばりました。」とおほめの言 葉をいただき、無事に終了しました。



青少年育成海田町会議

KAITA

「第3回家族対抗歌合戦」を開催

~ 「泣かずに元気だったで賞」・「楽しく歌って踊ったで賞」など~

平成24年12月2日(日)海田町ひま わりプラザで「第3回家族対抗歌合戦」 を開催しました。

この事業は青少年育成海田町民会 議主催で平成22年度から始まり今年度 で3年目となりました。青少年育成海田 町民会議では、青少年問題のもつ重要 性を考慮し、これを解決するために広 く町民の総意を結集し、次代を担う青 少年の健全な育成を図ることを目的と して活動しており、その一環として、親 子ふれあい事業 [家族対抗歌合戦]を 企画しました。近年、家族間の希薄さが 指摘されていますが、家族が一緒に楽 しく集いて、歌うことで、家族間の良好 なコミュケーションづくりを育むことが できるのでは、との思いからこれまで 開催してきました。

この歌合戦は、審査を実施し、最優 秀賞や優秀賞、また、特別賞として「泣 かずに元気だったで賞」・「楽しく歌っ て踊ったで賞」などを設けて表彰を行 います。審査基準は○チームワーク度・ ○演奏技術度・○演出度・その他(上記 3つの視点以外で特徴があれば加算) で審査しました。

今回は、家族7チーム (38人) の参加 があり又、観客数は約120名でした。歌 はバラエティに富んでおり、アニメ主題 歌・童謡・合唱曲などにより各チームが 歌や振り付けを考え行いました。

各チームの家族構成(1歳から64 歳)は、父・母・子が3チーム、父と子が1 チーム、3世代家族が1チーム、2家族が 1チーム、3家族が1チームと幅広く参 加していただきました。

各チームは、構成に合った選曲をさ れており、工夫した衣装や踊りで演出 を盛り上げていました。また、楽器もピ アノ・ギター・タンバリン・鈴などを駆使 しての演奏で来場者を楽しませてくれ ていました。

どのチームも様々な特徴がありなが ら、家族皆で歌う素晴らしさ、子どもの 一生懸命さ、かわいらしさ、お父さんの 頑張りなど、家族間のチームワークの 良好さがうかがえました。

演奏終了後に各チームのインタ ビューを行い、親や子どもの受け答え がほのぼのとしたもので、とても印象 に残るものでした。

なお、開催の趣旨に賛同する町内の 店舗から、家族団らんの時を過ごして いただくことを目的として、副賞を提供 していただきました。協力していただ いた皆様には本当に感謝しています。



また、今回も、ゲスト審査員として広 島市在住のあどRun太様に出演して いただきました。審査後には、ミニコン サートで、会場を盛り上げてくださり、 最後には会場全体で「笑おうよ」(あど Run太作詞・作曲)を合唱し、閉会しま した。

この歌合戦のアンケート結果では、 皆さんの演出や歌が良かった、アット ホームな感じがよかった、かわいくて いやされたといった意見が多くありま した。

この事業を通して親子のコミュケー ションや世代間・家族間交流の機会を 持てたことを嬉しく思います。一方で、 出場チームをもう少し増やせたら、もっ と賑わった歌合戦ができたのでは?と いう気持ちもありますので、今後改善し "より盛り上がり、より楽しめる"事業 を展開してまいりたいと考えています。





広島市東区青少年健全育成連絡協議会

HIGASHIKU

私たちは実行事務局を組織して、 青少年育成事業に取り組んでいます

東区青少年健全育成連絡協議会は 東区の各小学校区で組織する12団体 で構成し、活動は地域性を考慮し、三 団体を1ブロックとし、全体を4ブロック に区分し、それぞれの地域に密着した 幅広い特色のある活動を持ち回りで実 施しております。

その活動の実践は毎月1回選ばれた 4ブロックの事務局員と理事の事務局 長、会計担当並びに東区地域起こし推 進課の職員数名と事業実行事務局会 議で取決め実行いたします。

広島市でこのような組織をもつ事 業実行事務局はなく主体性のある活 発な議論のもと取組んでおります。そ れでは、これより主な二つの事業の事 例をご紹介します。

平成24年度 青少年によい環境を あたえる運動 東区推進大会開催

毎年7月1日から7月31日までの1ヵ 月間展開される「社会を明るくする運 動」(法務省主唱)「青少年の非行・被 害防止全国強調月間 | (内閣府主唱) などの活動と呼応し、広島市では昭和 47年から毎年7月を「青少年によい 環境をあたえる運動」月間と定められ、 市民意識の啓発活動として東区にお いても世論の喚起を促進することを目 的として、この取組みを継続実施して 参りました。

平成24年7月1日(土)広島県立広島 中央特別支援学校体育館において開



催いたしました。大会担当ブロックは 戸坂三地区青少協推進大会実行委員 会。大会の特徴は、主役は青少年、司会 から大会宣言、幕間を飾るアトラクショ ン、すべて、中学生、小学生で構成され、 大会の進行は初々しくとても活発でし た。特に広島ジュニアマリンバアンサ ンブルの皆さんの演奏は400名を超す 参加者を感動の渦に巻き込むすばらし いものでした。同、アンサンブルは、広 島県はもとより全国的に有名な「ひろ しま国際平和文化活動推進団体 | とし ての認定をうけた団体で、各地のボラ ンティア演奏で忙しく、スケジュール が合わない中、当日の大会参加の要請 に応えて頂きました。団体のメンバー の中心を担う小学生2名が当地域に居 住されていらっしゃることから、その 活躍ぶりをご紹介することもあり、大 変多くの参加者を得ることが出来まし た。地域の人から「本当によかった。上 手だったよ」「感動した!」との声かけに 子ども達の輝く笑顔がとてもすばらし かったです。

平成24年度 東区青少年健全育成大会 ~子ども達の声を聴く会~開催

広島市においては、「青少年健全育 成強調月間」として市民ぐるみで青少 年健全育成活動を推進する行事の一 環として、本年も「東区青少年健全育 成大会~子ども達の声を聴く会~」を 平成24年10月20日(土)東区民文化





センターホールにおいて開催いたしま した。

参加者616名を迎え、今大会が21世 紀を担う青少年の健全な育成にあたり、 青少年の意見に耳を傾け、地域・家庭 の取組むべき問題について区民が考 える場となること、さらに、地域活動と して問題に取組むきっかけとなること を目的に実施いたしました。

小学生の部2名、高校生の部2名、中 学生の部7名の選ばれた生徒の発表は どれも大変すばらしい主張でした。小 学生からは「小さな親切をしよう」「友 達のつながり」の2編。高校生からは 「広島市商ピースデパート」「原爆死 没者追悼式に参席して」の2編。中学生 から「生徒会活動から感じたこと」「美 化副委員長の視点 | 「人と人との絆を | 「仲間」「自分を信じて」「こころ一つ で|「家族|の7編。すべて感動の連続 で心温まる作品でした。予定していた 時間を25分過ぎはいたしましたが、会 場内は時間の経過を忘れ拍手喝采で した。

また、幕間を飾って頂いた瀬戸内高 等学校吹奏楽部の皆さん。広島県吹奏 楽コンクール12年連続ゴールド金賞 の演奏は会場の皆さんをたっぷり魅了 し、大変元気を頂きました。

結びになりますが、本年のすばらし い子ども達の声を聴き、今後の青少年 の健全育成の活動に地域の皆さまと共 に反映させ、一人でも多くの方に満足 して頂ける活動を目指し進めていきた いと思っております。

青少年育成尾道市民会議

三世代交流

~世代を超えたつながりを~



世代を超えたつながりを ~青少年健全育成市地区民会議~

市民会議の構成団体である青少年 健全育成市(いち)地区民会議は、核家 族化や少子化に伴い希薄になりがちな 地域のつながりを再生しようと、「三世 代交流会(子ども世代、親世代、祖父母 世代) 」を行っています。子どもたちに とっては、多世代との交流を行うこと で、社会性を育む貴重な機会となって います。

三世代交流の取組としては、新しい 年を迎えるにあたって、12月9日(日) わら細工教室を行いました。高齢者の 方に藁を準備していただき、児童、保護 者、高齢者が一緒に「しめ縄」を作りま した。藁を束ねて両手をこすりあわせ るように縄をない、太い縄に仕上げて いきました。

高齢者にとっては生きがいとなり、子 どもたちにとっては高齢者の経験と知 恵を知り、お互いに触れ合う良い機会 となりました。

交流を通して、子ども世代、親世代、 祖父母世代と三世代にわたり、継続的 な活動の中で世代や立場をこえて、多 様な交流があり、信頼関係を築いてい ます。

市(いち)地区民会議では「しめ縄作 り」のほか、グラウンドゴルフや生き生 き体験活動など、世代や立場を超えて の交流を行っています。これからも、各 世代間交流を図りながら、子どもの心 身の健全育成と心のふれあいを大切に

する活動を推進していきたいと思って います。

第3回東っ子まつり開催 ~向東地区青少年健全育成連絡協議会~

市民会議の構成団体である向東地 区青少年健全育成連絡協議会では、11 月18日(日)第3回東つ子まつりを開催 しました。天候にも恵まれ、2300人も の方が来場され、大盛況の1日となりま した。

前日には前日祭として、向東公民館 まつりも開催し、地域活動の発表の場 になりました。

当日は、善行表彰や功労表彰が行わ れた向東地区青少年健全育成大会、小 学生の合唱や中学生のブラスバンド、 地域のハンドベルなどのオータムコ ンサート、地域の諸団体の模擬店、バ ザー、作品展示、ゲームコーナー、地域 の祭りを復活させようという試みでの "亥の子"体験などがあり、地域のみ なさんの笑顔が溢れていました。また、 小・中学生が、東っ子ボランティア隊と して活躍し、たくさんの世代を超えた 交流が生まれました。様々な年代が協 力・参加することで、『手をつなごう!次 世代育成のために…』のテーマに向か うことができ、次世代育成につながる 祭りになりました。

第48回 尾道市青少年健全育成 大会開催

平成24年11月23日(金)しまなみ交 流館で第48回尾道市青少年健全育成 大会を開催しました。

この大会は、青少年の健全な育成を はかるために、毎年開催しているもの です。当日は、関係団体や、表彰やアト ラクションに出演する子どもたち、保護 者など多くの市民が参加し、約500人



の来場がありました。

式典では、まず、青少年健全育成功 労表彰の表彰式が行われ、青少年健全 育成活動に貢献されている市民や団体 が表彰されました。続いて、尾道市青少 年健全育成作文の表彰、「電子メディア との付き合い方」標語の表彰を行いま した。

次に、青少年健全育成作文で最優秀 賞に選ばれた小学校1年生から中学3 年生までの9人が、一人ひとり、作文を 舞台の上で発表しました。一生懸命、自 分の声で思いを伝える元気な声が、会 場に響きました。

大会の終わりを盛り上げたのは、アト ラクション(体験活動発表)です。 まず、重井小学校のトランペット鼓隊の 演奏がありました。トランペットやベル リラ、太鼓の演奏に合わせて、リングや

バトンが宙を舞い、フラッグがはためき ます。観客はかわいらしい演技に魅了 され、会場全体が一つになって楽しみ ました。

最後を飾ったのは、吉和中学校の吉 中太鼓の演奏です。3年生約60名が一 致団結し、3年間の集大成として、力 いっぱい心を込めて太鼓を打ちました。 迫力ある音色が会場中に響きわたり、 威勢のいい掛け声や軽快なばちさばき で、会場を沸かせました。





第 部 勉強会

地域の子どもは地域で育てる 地域における大人の役割~



講師 藤原 凡人氏

青少年育成指導者 府中町教育委員会委員長

子どもが育つ土壌をつくる

家庭や学校、地域は子どもが育つ土壌の役割を果

耕した土壌に、空気と適当な水分や養分があれば、 は自然の野山に例えることができます。柔らかく の花を咲かせます。 植物が根を張って、すくすくと成長し、やがて独自 たします。土壌でも、家庭は苗床、学校は田畑、地域

平成24年7月20日金に広島

でしょうか。 て、それぞれに確かな自分に育っていくのではない の条件が整った環境があれば、しっかりと根を張っ それと同じように、子どもたちも育つ土壌として

リーダーとしての役割を再認

研修会」を開催しました。地域 青少年育成地域リーダー合同 県立総合体育館で「実践委員

を促進しました。

動や夢配達人事業等への参加 識するとともに、地域の県民運

が大切にしなければならないのは、見えにくい部分 見えやすい部分を評価しがちですが、私たち大人 確かに育てていくかということです。 の、人間として生きていくための、根っこ、をいかに と言えます。子どもの成長については、とかく目に 私たち大人は何よりも大切な土壌(人間環境)

大人社会の価値観の変化

の声が聞かれますが、そう変わったとは思えません。 しかし、大人社会は近年大きく変化しました。 今の子どもは、昔の子どもに比べて、変わったと

長をもたらしたという利点もあります。 よって、わが国が短期間に世界が目を見張る経済成 義・結果主義をあげることができます。このことに それは、西洋的価値観による合理主義・効率主

要素がたくさんあります にするという、効率主義や合理主義とは相反する 教育のプロセスには、失敗・つまずき・遠回りを肥し 育てようと力んでみても、本人がその気にならなけ 作る作業とは異なります。親や教師がよい方向に てきたことが問題です。人間を育てる営みは、物を れば効率よく導くことはできません。人間が育つ ところが、教育においてもこの考え方が強く入っ

教育制度を「ゆとり」だとか「脱ゆとり」だとか

急がず、先を見据えて、じっくりと子どもの教育に 上位に置いて、気持ちに余裕を持ちながら結果を ない生活に追われています。子育ての優先順位 転換したところで、大人社会は近年ずっとゆとり 力を注ぐことが求めづらいのが現状です。

心の育ちは現代の大きな課題といえましょう。 ですから、教育の中で問題視される人間としての

子どもというもの

の大人に必要なことは、行動に対する意味づけ、価 価値は意識できにくいのです。そこで子どもの周囲 値付けです。この意味づけ、価値付けのことを私は 誘発されたものですから、行動そのものの意味とか 行するということです。しかも行動は興味・関心に 「評言」と呼んでいます。 子どもに共通する特性は、思考よりも行動が先

けて自分を動かす原動力になるのです。 の自信こそが、個々の子どもたちのやる気に火をつ 評言によって、子どもには自信が生まれます。こ

つぎのような話もあります。

道路が封鎖された際、地域の皆さんから依頼を受 体験し、暴走族から足を洗うことができたのです。 者たちは、人の役に立つことの心地よさや喜びを 視線を浴びていた若者たちが、倒壊した建物等で 本来の自分を取り戻すことができるのです。 本人が気づかない価値を周囲からの評言で気づき、 初めて掛けてもらった「ありがとう」の言葉に、若 けてバイクで物資の輸送を手伝いました。その時 神戸の震災の時に、当時暴走族として冷ややかな

も人間は一生自分自身を育てる努力をしなければ ことです。学校教育はもちろんですが、社会に出て 行動の価値が自分で自覚できる人間になるという 教育活動を通して人が育つということは、自分の

なりません。生涯学習の根幹とも言えましょう。

地域の教育力とは

学校での授業のように、子どもも教師も意識して学 育つ「影響力」による教育作用があります。 同士の関わりを通して影響を受けながら子どもが 主としたものです。また、双方無意識のうちに、人間 ぼう、教えようと思って営まれる教育は「指導力」を 教育作用には「指導力」と「影響力」があります。

と言えます。 言えますし、地域の教育力は影響力を主としたもの 家庭教育は指導力と影響力が相半ばしていると

生に必要な知恵とは次のようなことだと記してあ 学んだ』(ロバート・フルガム著、池 んだ本『人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で 今から約20年前にアメリカで出版され、話題を呼 央耿訳) に、人

◎何でもみんなで分け合うこと

◎人をぶたないこと ◎ずるをしないこと

◎使ったものは必ずもとのところへ戻すこと

◎人のものに手を出さないこと ◎散らかしたら自分で後片付けすること

◎誰かを傷つけたらごめんなさいと言うこと

◎食事の前には手を洗うこと (等々)

せん。これだけのことが、一生かけても身に付きにく のまま身に付くほど教育は簡単なものではありま いのが人間というものではないかと思います。 上で基本となる大切なことですが、学んだことがそ これらのことは、人間として社会生活をしていく

子どもは大人の背中を見て育つ

と実践的態度は身に付きにくいと考えます。 だことを大人たちは実践していない現実に触れる をあげることができます。自分たちが学校で学ん 定着しない要因として、学校現場と社会の「ずれ」

似をしながら成長していくのです。 識のうちに影響を受けて育つのです。教育制度がど わりません。子どもたちは親や教師、大人たちの真 のように変わっても、模範と模倣の教育原理、は変

るのです。 掛けることが、何よりも大きな地域の教育力にな から憧れのまなざしを向けられるような言動を心 ん、さすが地域のおじさんおばさんと、子どもたち 大人が自己点検をして、さすがお父さんお母さ

地域の役割を果たすために

がけて実践したいことは次のようなことです。 し続けることは何より重要なことですが、他に心 子どもたちに真似をされてもよい大人の姿を示

◎子どもへの働き掛けよりも、大人へ自己点検を働き掛

◎子どもたちに冷淡な視線を向けるのではなく、温かい ◎子どもに真似をされてもよい言動に心掛ける まなざしを注ぐ

◎声かけ励ましの評言活動を心掛ける

◎言葉で心を育てる。、言葉づかいは心づかい

◎子どもに接する際は、明るい笑顔を意識する ◎活動を強要しないでできる人、個人の意思を尊重する ◎地域で大切にしたい共通の価値を具体的な姿で教える

子どもたちが幼稚園や学校で学んできたことが

大人は、子どもたちにとってモデルであり、無意

植物がしつかり根を張るように 新鮮な空気のある土の中で

芽がふく土壌をつくりましょう 子どもたちの「根っこ」が育ち

花が咲くのは

ずっと先のことでしょうけれど

やがて自力で咲くでしょう 「根っこ」がしっかり育っていれば

かじわらかずと

うるおいがあって

あたたかく やわらかく 子どもたちが育つ土壌です

家庭 学校 地域は

第 テーマ 部 こんにちは グループ討

が取り組んでいる「あいさつ・声かけ」について意見 け、実践委員が司会進行し、日頃から地域リーダー 者として参加した地域リーダーを6グループに分 午前中講演をいただいた藤原凡人先生を助言

今回が初めてのことも 毎に発表を行いました。 なども含め、各グループ その後、今後の取り組み 発な発言がありました。 リーダー相互の交流は、 交換を行いました。地域 あり、各グループとも活

のまとめをしていただきました。 各グループの意見発表後、藤原凡人先生に全体

平成24年度 市町民会議ネットワ 研究·交流会

市町民会議は 県民運動を推進します

地域における青少年育成活動を推進するた

め、市町民会議会長に加え、次代の青少年育成活動を担うリーダーとして期待される若い世代 とともに研究協議・交流会を開催し、育成活動や市区町民会議の活性化の方策等について具 体化し、展開する活動を行いました。

平成24年度市町民会議ネットワーク研究・交流会は、平成24年8月24日 (金) 廿日市市ス ポーツセンターにて開催されました。



す。また、「気持ちの持ち様、考え方一つで、人生 めてもらいたくて」、「両親の喜ぶ顔が見たく がベストなのかを考える習慣をつける。」、「相 はいかようにも変えることができる。」、「大切 て」という思いが、常に心の中のあったようで れた高校時代だったようですが、「おやじに褒 あらゆるケースを考える。」など、これまでの **于の立場になって考える。時代の変化を考える。** なのは、与えられた環境の中で、どうすること

人生経験の中から得たものを熱く語っていた

す。 的にこなしていま 行事、事業を精力 合わせて50近 切りに、年間大小 市 支部 ボランティアの 日に行うせ 4 月 総会を 初 め 0 い 皮 \Box

います。 かわり、誠心誠意、 つの行事を楽しんで、 りますが、一つ一 2700人にもな 出動人数は、延べ 地道な活動に取り組んで 青少年の健全育成にか

庭でのつながり」「あいさつ」 などをテーマ 市内全小中学校を対象に、 どもたちが楽しめるようなものや、 まつり」「ふれあいスキー教室」といった子 活動内容は、「ふれあいキャンプ」「子ども 「思いやり」「家 廿日市



役会長兼CEOでもある細川匡氏から「企業 頭であり、 から見た青少年育成」 と題して講演をいただ 午前中の講演会では、 デリカウイング株式会社代表取締 廿日市商工会議所会

はしないが成績はそこそこ、サッカーに明け暮

講演会では、自らの少年時代を語られ、勉強

張っています! たちの喜ぶ顔が見たくてみんなで頑 立30数年の歴史に支えられ、子ども 青少年育成廿日市市民会議は、

実践発



携を取りながらの事業等、 えていく標語の募集、 に自分自身を振り返ると共に思いを広く伝 他団体との共催や連 多岐にわたりま

て青少年の健全育成に取り組みたいとの願 市民大会」があります。 あ大ホールで開催する、「青少年育成廿日市 いを込めて、はつかいち文化ホールさくらぴ その中の大きな事業の一つに、市民を上げ

発表の場として喜ばれています。 ての開催とあって、どの団体や学校からも 奏会を行っています。大きなステージを使っ 発表、廿日市市内全中学校の吹奏楽部の演 活動している子どもたちの団体のステージ 作品の表彰、市民センターや学校・保育園で この大会では、前述した標語募集の特選

めた新たな事業です。 卓球」は、3年前から陸上記録会に替えて始 会で紹介して体験していただいた「スリッパ 今回、市町民会議ネットワーク研究・交流

印象付けるために始めたものです。 ていることを残念に思い、国産のスリッパを 近その9割が海外からの輸入品で占められ 生産日本一を誇っていた山形県河北町が、最 そもそも、スリッパ卓球とは、スリッパの

れもうまくいかず、あちこちから歓声があが うのが大きな特色です。それでもなかなかこ め、ラリーが長く続き、誰でも楽しめるとい ケットにかわるスリッパの反発力が少ないた ラージボールを卓球台で打ち合います。ラ ラケットにスリッパを使い、直径4ミリの

> る競技となりました。 り、やっている本人も見ている人達も楽しめ

んか?お待ちしております。 私たち廿日市市民会議と交流してみませ

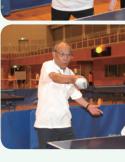
第二部 Oスポーツ体験

トンを実際に体験しました。 卓球やミニテニス、ファミリーバトミン 市市民会議が実践されているスリッパ の育成を図ることを狙いとして、 今年度は、スポーツを通じて青少年 世

スリッパ卓球

ゲーム。 卓球のラケットをスリッパに持ち替えた





ミニテニス

ビニールボールでプレー。 バトミントンコートを使い、短いラケットと





ファミリーバトミントン

トンが楽しめる。 羽根つき遊びとミックスし、手軽にバトミン





だき、交流の輪が広がりました。 研究会に引き続き交流会にも参加いた 年育成アドバイザー協議会の方々にも 中国、四国、九州、北海道地区の青少

少年育成カレッジの 総合講座」紹介

(公社)青少年育成広島県民会議では、公立大学法人県立広島大学と連携して、「青少年育成カレッジ」を開 講しています。青少年の心と健康、行動などを理解し、すこやかに育むための知識や技術を学ぶ内容で、「わか りやすい」と受講者からは好評です。

平成24年度の総合講座は、「発達障害」をテーマに平成24年10月20日(土)と12月1日(土)に開催しました。

※詳しくはHPをご覧ください。 http://www.hiro-pavd.or.ip

第1回 「青少年の自立を支える地域の力」

不登校や引きこもり、ニートなど社会参加が困難な若者が増 えています。働き方や社会生活の仕方が多様化し、個々の力に応 じた支援が求められています。社会参加が困難な若者に対し、地 域を含んだ支援を実践している方々から学びました。

1限日

■「若者の力を引き出し、地域で支えていく取り組み」

就職できない、学校でも上手く行かないなど思春期を迎えた 方々が社会参加しづらくなると家から出るのも難しくなりま す。若者の力を引き出すためには地域の中で「できる」を見つ ける機会と場を作る必要があります。「ちゃんくす」の挑戦を お伝えしました。



西上 忠臣 NPO法人ちゃんくす 代表

2限目

■「不登校の子ども達とどう向き合っていくか?」

~支援者の方の関わりで違いを起こそう!~ 現在の日本社会の中で、「不登校の子ども達はどんな立場に立 たされているのか。今の社会は子ども達にとってどんな社会 なのか。そして今の子ども達に私達大人はどう関わりを持っ ていくことが大切なのか。」についてお伝えしました。



喜田 紘平 学校法人喜田学園 東林館高等学校 理事長

3、4限目

■「社会で力を発揮しにくい若者への支援の在り方」

~アウトリーチと重層的な支援ネットワークを活用した多面的アプローチ~ 就職できない、学校に行けないなど社会への一歩を踏み出す のに困難な方々が増えています。当法人では、自宅への訪問や 他機関との連携をしながら若者への支援を行っています。本 人だけでなく、家族や支援者への支援も必要であり、地域資源 との連携の中で社会参加を促している状況をお伝えしました。



谷口 仁史 NPO法人スチューデント・ サポート・フェイス 代表理事

第2回「少年非行について考える」

非行とはいったい何でしょうか。少年たちは何を感じ、大人は どのように彼らを見守り、支えることができるのでしょうか。本 講座では、決してシンプルではないこのテーマを、皆さんと一緒 にじっくり考えました。

1、2限目

■「発達障害と少年非行1」

近年、青少年を考える上で、発達障害が大きなテーマとなって きています。非行のある少年たちも例外ではありません。発達 障害についての基礎的な知識を押さえつつ、非行との関連に ついて考えました。

■「発達障害と少年非行2」

前の時間の講義を受けて、少年が非行を必要としない生活を 得るための適切な支援について考えました。



永吉 美香 県立広島大学保健福祉学部 作業療法学科

3限目

■「当事者から学ぶ非行」

現在、全国各地で非行少年の自立を応援する活動を精力的に 行って少年の思いや、大人のかかわり方について、経験者なら ではの貴重なお話を伺いました。



高坂 朝人 愛知·南保護区BBS会会長/ NPO法人セカンドチャンス! 名古屋交流会責任者

4限目

■「非行について考える」

前の時間の講義を受けて、当時高坂氏を支援した弁護士にも ご登壇いただき、意見交換会を行いました。

一日の講義のまとめとして、非行について参加者全体で深め ていきました。



永吉 美香 高坂 朝人 秋田 智佳子 広島総合法律会計事務所

ちゃんくすの紹介

やってみたいこと」「できなくて困っ

原 駅 前 に

あるちゃ

んくすは、

青少年育成カレッジ講師の寄稿

講師 西上忠臣さん

PROFILE

年、引きこもり、ニート、不登校な

ていること」ができるようになるため

【にしがみただおみ】 NPO法人ちゃんくす 代表

感じることをお伝えします ちゃんくすの活動を紹介し、その中で る」ことを支援しています。本稿では はいけないこと」を「できるようにな きこもってしまっている方々を中心 なかったり、就職に意欲のない方、 校になじめずにいたり、 難な状態である不登校であったり、学 生以降の方々を中心に、社会参加が困 やってみたいこと」や「やらなくて て支援する団体です。その中心には その人にあった社会参加を目指 就職ができ 31

ど、社会参加ができない人たちの存在 ないのが現状です。 者を支援するだけでは成し遂げられ も要因があって、その状態になった若 社会参加は、学校や職場などの環境に ている人が多いのが現状です。しかし、 していないし、社会参加したいと感じ 方は、そのような状況に誰しも満足 明るみになることがあります。多く NPO法人ちゃんくすは、主に中学

社会参加しづらい若者の「やっ てみたい」に焦点をあてて社 につなげる活動 ちゃんくすの戦略~その1~

得意なことを社会に還元することで す。ある方は論理的な能力には長けて つの戦略は、 個性ある人たちの

紹介し、「やってみたい」に焦点を当て 助 り、ニート、非正規雇用が続くなどに の利用者は、発達障害の方、引きこも 超えて、全ての人が参加する場と機会 \mathcal{O} 立した本法人の活動の理念は、 の機会と場を作り、利用者の成長の するという活動です。今回は、 は、地域の活動に参加する機会を増や 会につなげる活動であり、 の「やってみたい」に焦点を当てて社 業」に焦点をあてた利用者への関わり を提供すること。」としています。現在 た街づくりについて紹介します。 つの戦略を事例や事業を交えながら し、社会貢献活動をしながら社会参加 す。ひとつは、 は、大きく2つの戦略で行われていま より社会参加が困難な若者です。「作 有無や年齢など個人が持つ背景を をする団体です。平成2年2月に設 社会参加しづらい若者 もうひとつ この2 「障害



分に発揮できる場を創ることができ るグループを作り、身体的にパソコン や機会を作ることで、社会参加を促 得意なことを地域の中で活動する ンや電気機器を分解したり改造する み合わせの理解に長けていて、パソコ ることで、得意なパソコンの作業を十 できるようなパソコン教室を実施す ンをゲームでしか使っておらず社会 を使いづらい方へ提供したり、パソコ ことができます。例えば、資源回収を ことが上手な方がいます。そのような いたり、 加が苦手な方に新しい魅力を創造 的にしたリサイクルパソコンを作 構造が明確であり、記号の

たりと地域の困ったことを解決できたりと地域の困ったことを解決できます。パソコンをに基盤から配線を外部に取り出す方法を教えると、様々なタイプの機器にたったり、壊れたおもちゃを修理したり、ちょっとした電気製品の修理をしり、ちょっとした電気製品の修理をしたったりと地域の困ったことを解決できます。また、電気機器の配線の理解がます。また、電気機器の配線の理解が

力が発揮される機会が増えます。社会問題を解決するために彼らの能ちゃの修理など、大小様々ではあるがの入力支援機器の製作、子どものおもいのにいいるに環境問題、障がい者へんような機会を提供することで、リサ

います。その方は、お菓子を作ること子を作ることがとても大好きな方がまた、ある方は子どもの頃からお菓

ミュニケーションが取 は得意なのですが、 りづらくて、自閉症と てみたい」を仕事にす を作る」という「やっ 会も作り、彼の「お菓子 さんに食べてもらう機 その方のお菓子をお客 店にも協力してもらい 食べてもらう場を提供 子を作り、 す。その方には、 いう診断を受けていま わっていきました。 ることができるまで関 しました。地域の喫茶 地域の人に お 菓

の人にとって「やって製品の修理をする」「お製品の修理をする」「おしている」では、そ

います。 います。



ら社会参加する活動】 増やし、社会貢献活動をしなが地域の活動に参加する機会を

もう一つの戦略は、地域の社会問題

と一緒に行動を起こすことです。を解決するために、ちゃんくすが地域

す。 手段の変化などによりドーナツ化 場所は、近年の日本の地域経済を反 促せるような取り組みを行ってい ぎわいが必要です。市民の中には、 舗の郊外での出店、車社会による移 時代に繁栄を極めた「駅前」は大型店 を企画し実行しています。そして、そ に参画できるように、地域のイベント を持っているが、何を、どのようにし ういった現状を憂い、なんらかの形で 促す必要があり、そのためには人のに 済を活性化するためには個人消費を 前広場という場ができました。地域経 がなくなり大きなビルがなくなり、駅 象が生じています。三原駅前は百貨店 している場でもあります。高度成長期 んくすでは、その人なりにまちづくり を聞くことがあります。そこで、**ちゃ** まちづくりに貢献したい、という意欲 たらいいのかわからない、という意見 加させることで、彼らの社会参加 輪の中に社会参加が困難な方々を ちゃんくすがある三原駅前という そ

ています。灯ろうに絵を描くのは近て駅前広場に並べるイベントを行っ約千個のキャンドルを灯ろうに入れ例えば、「あかりプロジェクト」では、



な方々も一緒に行って描いたりお手 タッフやコミュニケーションの苦手 絵を描く時にはちゃんくすからもス 来て楽しむことができます。灯ろうに たちの作った灯ろうに明かりが灯さ がい者の施設や一般市民です。自分 隣の幼稚園や保育所、 いう、当たり前の動機でまちに市民が れ、まちをきれいに彩る姿を見たいと 高齢者施設、 障

を生み出しています。

トをすることで住民の相互交流 をウォークラリーというイベン 活かし、三原の生活感溢れる地域 ます。転勤の家族が多い地域性を

てもらうことで、社会参加を促 者をボランティアなどで参加し ントに、社会参加が困難な若 ちゃんくすでは、これらのイ

飾り、 ボランティアが灯ろうを す。「あかりプロジェクト」 伝いをしたりして、その方 ためにお店を出店し、 イベントに協力していま なりの参加の仕方で、この 市民が灯ろうを描き、 飲食店は盛り上げる 音楽 0)

それぞれの個人、 が見物にやってくる 楽を奏で、 貢献できる場を創る 業でまちづくりにも 団や組織のできる作 ついた灯ろうを市民 グループは自前で音 ことができます。 また、三原駅周辺は 明かりの 集



史ある建造物や神社

閣も多く残ってい

昔の商店街が残り、歴

り関連の予算を用いて実施していま ていくことを行っています。 業を中心にして人のつながりを創っ す。個人、集団、組織ができることを行 を行政や商工会議所などのまちづく 政や経済団体の予算を使いながら、作 しています。また、このような地域で イベントを事業として行い、事業費



青少年育成カレッジ講師の寄稿

講師 永吉美香

PROFILE 【ながよしみか】 県立広島大学保健福祉学部 作業療法学科 講師

さん

られます。 が多い」「危険なあそびを好む」などが見 AD/HDの特徴のある子どもには、例えば、 す。ちょろちょろ動いて目立つ子もいれ 動性障害 「気が散りやすい」「忘れ物・なくしもの 不注意と衝動性、 ぼんやりして目立たない子もいます。 多動性を特徴としま

Disabilities: 学習障害

使用に困難があるという特徴があります。 推論する能力のうち特定のものの習得と かわらず 全般的な知的発達に遅れはないにもか 、聞く、話す、読む、書く、計算する、

あることも多いようです。 には、感覚面や運動・行為の面の課題が 発達障害傾向のある子どもたち

①感覚の過敏さ・鈍感さ

より敏感/鈍感なことがあります。また まま」「乱暴」などと捉えられがちです。例 す。感覚の特徴は気づかれにくく、 覚や、傾きやスピードを感じる感覚が、人 覚醒度が人より高い/低い場合もありま 触覚、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、関節の感 「わが

ASD (Autistic Spectrum Disorder

自閉症スペクトラム障害

自閉症やアスペルガー、広汎性発達障害

などを含む一連の障害で、

「社会的コミュ

思います

習障害)の3つについて、ご紹介したいと AD/HD (注意欠陥多動性障害)③LD (学 ①ASD

(自閉症スペクトラム障害)②

ここでは発達障害の主要な概念である、

2 発達障害について

非行について述べていきたいと思います。

適切な対応をおさらいし、本題である少年

す。今回は、

発達障害に関する基本情報と

近年、「発達障害」に注目が集まっていま

はじめに

強弱はあるが連続した一連の障害という 反復行動」を特徴としています。「スペク ニケーションの障害]と「限定した興味と 意味です。ASDの特徴のある子どもには、 トラム」とは連続体ということで、特徴の

例えば「一方的に話す」「こだわりがある」 Hyperactivity Disorder:注意欠陥/多 @AD/HD (Attention Deficit / よく転ぶ」などが見られます

「空気を読めない」などが見られます。

ります。 念は、ご本人や周囲の人の、ご本人に対す 置かれてしまいます。発達障害という概 じ」を要求するとき、生活しづらい状態に あります。しかし周囲が彼らに「みんな同 ころや皆より優れている部分もたくさん る理解を促し、 これらの子どもたちには、 生きやすくするためにあ 皆と同じと

事だと思います。 く らっしゃいます。共感的に子どもを理解 ますし、 す。これらの特性は我々誰もが持ってい はまる?」と思われた方も多いと思いま 発達障害の特性を知って「私にも当て 長所に目を向けて応援することが大 社会で活躍されている方々も多くい

発達障害の二次障害について

ちを持っています。しかし、発達障害をも いかないことが生活の中に沢山あります。 つ子どもには、いくら頑張ってもうまく い」「自分に自信を持ちたい」という気持 人は皆、「大事な人に受け入れられた

②不器用・動きのぎこちなさ。行為の組 えば、「人が多いところが苦手」「偏食が強 み立ての苦手さなど い」「着替えを嫌がる」などが見られます。

手」「字を書くのが下手」「バランスが悪く を立てることなどに苦手があります。例 えば、「ダンス・なわとび・球技などが苦 運動面の不器用さや、 問題解決の戦

個性を誰にも負けない武器にし

二次障害の起こり方の例 衝動·多動 自責·不安· 引きこもり 勉強や運動 自己否定 叱責 の苦手 虐待いじめ 攻撃・非行 居場所 状況判断の のなさ 弱さ 反応 心身症・鬱 薬物依存 感覚過敏 特性

らの非難によって保護者が追い詰められ 係につまずき、 虐待に発展することもあります。友人関 がちです。「ダメな子だ」とレッテルを貼 もしばしばです。 す。思うようにならない子育てや、周囲か く叱ったり、 周 囲の大人は、 排除されようとすることもありま 保護者の責任を問うたりし いじめの対象になること 「よかれと思って」厳.

周囲との兼ね合いの中で二次的に引き起 神疾患が引き起こされることがあります。 で、不登校や引きこもり、反社会的行動や こされるので、二次障害と呼ばれます。 これらは発達障害そのものからではなく 犯罪行為、不安障害や鬱、依存症などの精 このような出来事が重なると、子ども 居場所を見失っていきます。そんな中 「どうせ自分なんて」と自己評価を下

業」の視点をご紹介しようと思います ここで、私は「作業療法士」なので、「作

をするか)との関係の中で生じるものだ が)と「環境」(どんな環境で)と「作業」(何 うまくできるかどうかは、「人」(どんな人 本人と一緒に取り組みます。また、作業が 業をして健康に暮らすことを目指してご 何かを「行うこと」です。作業療法士は、 と捉えています 「作業」とは、その人を生き生きとさせる

く元気にできる作業がない毎日を過ごし すること)を強いられています。自分らし 座って勉強をすることや、 なかで、とても苦手な「作業」(きちんと てみます。批判され攻撃される「環境」の 続けることが、二次障害を呼びます。 (周囲の理解が乏しい場合)の日常を考え この視点から、発達障害をもつ子ども 同じ様に行動

過ごしていくヒントを、再び「人」、「環境」、 ができるのは「環境」と「作業」です。 言えません。より安全に迅速に変えること りを受けていますが、あまり良い方法とは は「人」の部分のみを変えようとする関わ 「作業」の観点から考えてみます。多くの子 個性豊かな子どもたちが、より元気に

その子にとって重要な「環境」である大人 環境を整えることや、保護者や教師など は大きく変わります。作業しやすい物理的 ない関わりをするだけでも、子どもの毎日 を支えることも助けになるはずです。 「環境」の面では、周囲の大人が追い詰め

げることができるように力を添えること ること、やりたいことからはじめ、やり遂 を見つけ、応援することが大切です。出来 「作業」の面では、その人にあった作業

必要です。

処法を少しずつ習得することも大切で 育って行くと思います。 体も認知も、しなやかさと強さを備えて いながら実体験を積むことを通じて、 す。言葉で理解するだけでなく、身体を使 分との付き合い方や、様々な状況への対 「人」の面では、自分の特性を知り、

するのが望ましいと思います。 作業を行いながら生活できるよう手助け め、周りと折り合いながらも、自分らしい いくことが大切です。子どもの個性を認 はなく、一人一人の目線に立って考えて いずれにしても、マニュアル的な方法

理解がスムーズになると思います。 少年にとりわけ発達障害が多いわけでも 踏まえて考えていただくと、非行少年への があったら必ず非行をするわけでも、非行 害の一つにあげられていますが、発達障害 ありません。ただ、ここまで述べたことを たいと思います。非行は発達障害の二次障 ここからは、本題である非行の話に移り

4 非行の要因

発達障害

作業

友達づきあい

怒りっぽい

受験勉強

遊び

スポーツ

仕事クビ

あります。ここでは、非行を引き起こす要 非行少年の現状にあっていない可能性が いるということは、現行の少年司法制度が いると言われています。再犯率が増加して 少しています。ただし、再犯率は増加して 方も多いでしょうが、結論から言うと、減 か?凶悪化と増加をイメージされている 近年、少年非行は増加しているでしょう

まじめさ

環境

貧困

因について考えてみたいと思います。

、主なも

②分化学習理論:家庭・仲間・地域集団 ①緊張理論:親、学校、社会などへの反発 のをいくつかご紹介します。 等から、非行の文化を学習するとする など、心理的葛藤が原因とする理論。 まず、既存の非行の理論の中で、

③統制理論 などとのつながりが希薄で、 を思いとどまることができないとする : 他者・社会的役割・自尊心 非行行動

④社会的反作用理論:軽微な犯罪をした 化するとする理論。 ることで反作用として行動がさらに悪 時に、社会が「悪い子だ」とラベルを貼

⑤心理的発達犯罪学理論 個人的特徴と環境要因の相互作用だと する理論。 : 非行行動 は

る人がいることが重要ということが強調 応援してくれる人、頼れる人、信じてくれ されていました。

当事者の意見の中で、非行の始まりに自 己肯定感の低下が絡んでいる点、非行と 非行には多様な要因が複雑に関連して 適切な支援が必要だという点には特に注 から別の作業に移行したいと思った時に く含んでいるという点、非行という作業 いう作業は、本人にとっては「自己表現」 おり、個々に違った意味付けがあり、一概 に語ることはできないことがわかります |適応||「向上心|などの積極的な意味も多 非行理論と当事者の意見を総合すると、

既存の枠組では自分らしい作業を見つけ 作業の視点から単純化して言い直せ

うち通過し卒業する。しかしずるずる続 らに私は、非行少年自身は非行のことを るということが見えてきました。また、非 けてしまう場合や、すでに社会的信用を 少、自己表現、周囲への適応、快の獲得や くれた人がいた、仕事を始めた、家庭がで 行を卒業するきっかけとしては、 仲間との絆や、向上心のために続け、その の結果、自己肯定感の低下や居場所の減 元非行少年たちと、インタビューや非行 り、司法制度の中に応用されています。さ きたなどあり、 失っていて他の生活に移れない場合もあ 不快の発散などが非行のきっかけとなり、 について語り合う会を実施しました。そ どう思っているかにも興味を持ったので、 どの理論にもなるほど思うところがあ 卒業しようと思ったとき、 認めて

目したいと思います。

支援が必要だということになります。 作業に移行していこうとするが、そこには 業として非行を見つけ、成長につれて別の られていない子どもたちが、熱中できる作

ても、大きく間違いはないと思います。 れないままサポートを得られず、 す。発達障害者の犯罪率が高い訳では決 めや虐待の被害者だった、学校や家庭で 間が長くなったりしています。また、いじ ます。彼ら彼女らは、少年院や鑑別所でも ドを強く感じる少年が数人にひとりは. 年鑑別所などで非行少年と接した際の私 次的に非行を行い、 してありません。しかし、 自信を失っていたという話もよく聞きま 集団行動になじめずに、 のことにも触れておきます。少年院や少)抜け出せないでいる子も多いと仮定. 経験では、 非行少年で発達障害を持つ子どもたち 非行性が改善しないとして収容期 発達障害のバックグラウン 発達の特性を理解さ 、発達障害から 問題児扱いされ 非行か

別的かつ包括的な支援は日本の司法シス 別支援が不可欠です。以前より個別の視 生きていくには、という視点に立った個 の対応には、 開拓です。 を踏まえた対応が必要ですがまだまだ未 を持っている場合には、さらにより特性 テム上では機能していません。発達障害 点が重視されるようになったとはいえ 「人」・「環境」・「作業」までを含めた、個 障害の有無にかかわらず、 彼らが今後、 健康に元気に 非行少年へ

5 非行少年に何ができるか?

のコミュニケーションの第一歩だと常々 ら対等な立場に立つことが、 だと思います。この一番基本のところか る可能性を持っていると捉えるのが妥当 よっては、私を含めた誰もが、犯罪者とな います。しかし、「環境」と「作業」の状況に これまで地域社会が非行少年に行ってき 境」・「作業」に沿って考えたいと思います。 何ができるでしょうか?再び、「人」・「環 た関わりは、「許さない」「反省を促し、 人間にする」などの、善悪·賞罰を基軸と た「人」に対するアプローチだったと思 非行少年に対して、地域にいる我々は 非行少年と

業」と「環境」への支援です。 ちが自分らしく暮らしていくための、 今回私が提案したいことは、子どもた

対 過程を見守ることが必要です。学歴主義 とを応援するという方向性が必要です。 す。元非行仲間でボランティアをしたり、 してくださっている話も耳にします。よ よく彼らの「作業」を支え、夢の後押しを さな工場の社長や、学習塾の先生が根気 ないという苦しさがありますが、 で、不況下の日本では、作業の選択肢が少 本人がやってみて試行錯誤する場を与え に見つける過程も大事でしょう。実際に やりたいことや、 し扉を開いてくださることが必要で 多くの地域の方々が彼らの「作業」に 「作業」については、本人のやりたいこ 向いていることを一緒 町の小

> います。 金銭管理など日常生活の作業を上手に送 れるスキルを支援する機会も重要だと思 い成果をあげています。また、料理や洗濯・ 様々な機関や団体の支援で行われ良

使して整えることが急務です。 の側面では、 顔見知りのおじさんおばさんが声をかけ 相談できる場所、 至ることも多いと聞いています。彼らが 年院を出る時、 前に進む力となるようです。「環境」の他 てくれることがとてもありがたい。」と話 の居場所づくりが大切だと思います。少 金銭面といった環境を、 して尊重する姿勢を周囲が示すことが、 してくれた青年もいます。一人の人格と 心できる場所が必要です。「小さい頃から していても、 「環境」については、社会の一員として 、親を支えること、住居や食事 孤独感に耐えかねて再犯に 再犯しないぞと固く決心 知っている顔を見て安 社会制度等を駆

仲間と認識し、応援し、 実際に子どもたちの居場所や将来設計の 境」を作っていくうえで、非行経験のある ければと思います。 役の非行少年を手助けすることは、 モデル、相談相手にもなれます。また、現 業」・どんな「環境」が必要かを知っていて われたときは、積極的に耳を傾け、力強い 力です。どうか、元非行少年の活動に出会 から遠ざける効果があります。経験こそ 行少年にとって大事な作業となり、 人々は強力な味方となります。どんな「作 最後に、非行少年に適切な「作業」・「環 手を組んでいただ

サッカーの試合をしたりといった「作業」

6

うレッテル貼りをやめ、 員として、それぞれの子どもの個性を認 シフトしていく必要があります。 とにほかなりません。 環境」の応援の第一歩は、 地域に住む私たちにできる、 応援し受け入れていく姿勢を示すこ 一人でも多くの方 社会の大事な 「悪い子」とい

「作業」と

元非 再犯 ちを応援して下さることが何よりだと思 います。 自分に出来る範囲で自然に子どもた 個人に合わせた、環境と作業への支援。 →親を支える →居場所の確保 人 →金銭面の保証 →理解ある地域社会 ・個性を活かせる仕事 環境 作業 やりたいことを応援

まとめ

ŧ 業]と「環境」に関する応援へとウェイト する関わりから、もっともっと多くの「作 いくためにも、「人」ばかりを変えようと た。発達障害の傾向がある子どもが個性 を存分に生かして元気に生活するため 今回は発達障害と非行のお話をしまし 再犯せず社会の一員として活躍して 非行少年が非行以外の作業を見つけ

はぐくむ Information

毎月17日

青少年の日

每月第3日曜日

家庭の日

11月1日

ひろしま教育の日

青少年育成広島県民会議とは…

青少年育成県民運動の推進母体として、昭 和41年の設立以来、次代を担う青少年の健全 な育成を図ることを目的にさまざまな事業を 行ってきました。

昨今の複雑多様化した青少年をめぐる問題 に、国、県、市町の行政や青少年団体など関係 機関と連携し、県民総ぐるみの育成運動として 取り組んでいます。あいさつ・声かけ運動、少 年の主張、夢配達人プロジェクト事業、青少年 育成カレッジなど幅広い内容です。平成20年 の法改正に伴う申請手続きを済ませ、平成23 年度に公益社団法人に移行しました。

〈概 要〉

設 立 昭和41年12月7日

法人格取得 平成2年10月21日

認 定 日 平成23年3月22日

育成基金 5億円(平成3年度設立)

長 上田宗冏(茶道上田宗箇流家元)

(XH) 青少年育成広島県民会議

〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県環境県民局県民活動課内 TEL 082-513-2742

FAX 082-511-2173

http://www.hiro-payd.or.jp

会員加入のお願い

私たちがそうであったように子どもたちはやが て大人になっていきます。青少年が夢を持ち、健や かに成長し、自分が育った地域を愛し、社会を構成 していくことは私たち全ての願いです。そのため の活動を県民運動として取り組んでいます。

県民の皆様方に会員になっていただき、この活 動へのご支援をお願いしております。活動の内容 は、『はぐくむ』の中をご覧ください。

■賛助会員

会費/個人 年額1口 1,000円

団体 年額1口 10,000円

■正会員

会費/個人 年額1口 3.000円

> 団体 年額1口 5,000円

●何□でも結構です。

- ●機関紙「せとのあさ」、情報誌「はぐくむ」をお送りします。
- ●会費の納入方法などは、事務局までお問い合わせく ださい。

銀行 振込先 広島銀行県庁支店

□座番号/(普通)233251

口座名義/(公社)青少年育成広島県民会議

「ゆっぴー」は、 府中町の小学生が 太陽とライオンをモデルに、 "元気に明るく育つ 青少年"をイメージして デザインしました。 広島県の青少年のマスコット ゆっぴー

ケータイやスマートフォンで、 子どもたちがトラブルや犯罪に 巻き込まれています。

- ◎ケータイやスマートフォンに フィルタリングを利用していますか?
- ○ケータイやスマートフォンの 使い方についてルールやマナーを つくっていますか?

非行の低年齢化が進み、 14歳未満の中学生の 補導数が増えています。

- ◎子どもが夜遅くまで外出していませんか?
- ◎子どもの友達関係に変化は ありませんか?

※フィルタリング・・・・子どもたちを有 害サイトから守ってくれる機能のこ と。子どもに見せるのにふさわしな いサイトを一定の基準によって選 別(=フィルター)し、そうしたサイト ヘアクセスできないようにする。

「みんなであいさつ声かけを」

広島県・広島県教育委員会・広島県警察・(公社) 青少年育成広島県民会議・市町・市町教育委員会 各青少年育成市区町民会議及び青少年育成関係団体